

おすすめ絵本・2021

=ちゅうりっぷ組=

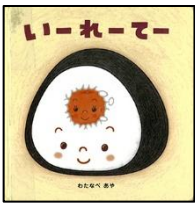
「いーれーてー」

わたなべあや
アリス館



色々な食べ物や飲み物たちが「いーれーてー」「いーいーよー」のことばを繰り返すシンプルでリズムが癖になる絵本です。

可愛らしくハッキリとした絵のデザインで、読んであげるとリズムに合わせて体を揺らしてみています!!



=たんぽぽ組=

「でんしゃが ゴットン」

冬野いちこ
岩崎書店



黄色い電車にお客さんを乗せて、町からトンネルを抜け、高い鉄橋を渡り、山の駅まで向かいます。

「ゴットントン」と音が心地よく、かわいい表情の動物たちを指して名前を言って楽しんでみています。



=すみれ組=

「ゆっくとすっくとやだやだおぼけ」

絵：ささももみ、文：たかてらかよ
ひかりのくに



何をするにも「やだ、やだ」と言うゆっくとすっく。そんな二人の足元には、やだやだおぼけが…。おぼけが出てくると「おぼけいるよ」「こっちこっち」と言いながら何度も楽しんでみえています。「やだやだしないよねー」とよくわかっているようです。



=ゆり組=

「だめよデイビッド」

デイビット・シャノン
評論社



好奇心旺盛のデイビッド。何もかもが楽しくて、えすかれーとしてしまい、ついつい「だめよ」と言ってしまうお母さん。子どもも親も「ある！ある！」「わかるわ～！」と共感できる本です。

最後はほっこりできる所もおススメです。



=さくら組=

「バムとケロのおかいもの」

島田ゆか
文溪堂



仲良しの二人はお買い物に出かけます。この絵本のおススメは、シリーズで見ることです。お買い物先に、別の話のキャラクターが出ていたり、全部の絵本にそっと出てくる子がいたり…。

親子で発見を楽しみながら見てほしいシリーズ絵本です。



=ひまわり組=

「おいしいのぼうけん」

古田足日・田畑精一
童心社



さくら保育園の押し入れの中は、ねずみばあさんの住む暗やみの町でした。そこに入った二人の子ども。聞いている子どもたちは、この冒険を自分がしているように感じ楽しんでます。語り手のことばを聞き、想像の世界に浸れる絵本をおすすめします!

